

取扱暗号資産の概要説明書

概要書更新年月日		2024年6月7日
	日本語の名称	ゲンソキシ メタバース
	現地語の名称	Gensokishi Metaverse
	呼称(日本語の名称と同じ場合は一表記)	—
	ティッカーコード(シンボル)	MV
	発行開始(年、月、日)	2021年12月13日
	時価総額(ドル基準、例: \$ 1,000,000)	9375264.746
	時価総額(円基準、例: ¥ 100,000,000)	¥1,460,760,000
	主な利用目的	送金、決済、投資等
	利用制限の有無	なし
	海外流通の有無	あり
	国内流通の有無	あり
	店舗等の利用制限の有無	なし
	利用制限を行う者の属性	—
	利用制限の内容	—
【基礎情報】	一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
	法的性格(資金決済法第2条第14項第1号、第2号の別例: 第1号)	第1号
	2号の場合: 相互に交換可能な1号暗号資産の名称	—
	発行暗号資産に対する資産(支払準備資産)の有無および名称	なし
	発行者に対する保有者の支払請求権(買取請求権)	—
	支払請求(買取請求)による受渡資産	—
	発行者が保有者に付与するその他の権利	—
	発行者に対して保有者が負う義務	—
	価値の決定	保有者間の自由売買による
	交換(売買)の制限	—
	価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態	パブリック型ブロックチェーン
	保有・移転記録台帳の公開、非公開の別	公開
	保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
	利用者の真正性の確認	秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。
	価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Ethereum: Proof of Stake(PoS) Polygon: Proof of Stake(PoS)
誕生時に技術的なベースとなったコインの有無とその名称(アルトコインのみ)	—	
【取引単位・交換制限】	取引単位の呼称	MV
	保有・移転記録の最低単位	0.000000000000000001 MV
	交換可能な通貨又は暗号資産	全て可
	交換制限	—
	制限内容	—
【連動する資産の有無等】	交換市場の有無	あり
	価値が連動する資産等の有無	なし
	価値連動する資産等の名称	—
	価値連動する資産等の内容	—
	価値連動する資産との交換の可否	—
	価値連動する資産との交換比率	—
【付加価値】	価値連動する資産との交換条件	—
	その他の付加価値(サービス)の有無	あり
	付加価値(サービス)の内容	NFTを用いたゲーム内アイテムの作成等
	過去3年間の付加価値(サービス)の提供状況	—
	発行者	あり
	発行主体の名称	MetaStar, Inc
	発行主体の所在地	Ketevan Tsamebuli ave./Bochorma str. 50/18, floor 2, Georgia
	発行主体の属性等	営利企業

【発行状況】	発行主体概要	GENSOKISHIプロジェクトの発行体
	発行暗号資産の信用力に関する説明	Ethereum: プロトコル部分に関して技術的に安定している。 Polygon: ネットワークに分散的に参加する記録者の承認によって、信用力が維持されている。
	発行方法	初期発行(20%)と今後2年間で残りの80%の発行を予定
	発行可能数	2,000,000,000 MV
	発行可能数の変更可否	不可
	変更方法	—
	変更の制約条件	—
	発行済み数量	400,000,000MV
	今後の発行予定または発行条件	2年間で残りの80%の発行を予定している。
	過去3年間の発行状況	総発行枚数の20%に相当する4億枚を発行
	過去3年間の発行理由	資金調達
	過去3年間の償却状況	—
	過去3年間の償却理由	—
	発行者の行う発行業務に対する監査の有無	なし
	監査を実施する者の氏名又は名称	—
直近時点で行われた監査年月日	—	
直近時点における監査結果	—	
【価値移転記録台帳に係る技術】	ブロックチェーン技術の利用の有無	あり
	ブロックチェーンの形式	パブリック型
	ブロックチェーン技術を利用しない場合には、その名称	—
	利用するブロックチェーン技術以外の技術の内容	—
	価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
	価値記録公開/非公開の別	公開
	保有者個人データの秘匿性の有無	あり
	秘匿化の方法	公開鍵と秘密鍵による暗号化
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決と承認者による確認を経て移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることで、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。	
【価値移転の記録者】	記録者の数	2024年6月7日時点のノード数: 4,701(Ethereum) 参照先: <a href="https://etherscan.io/nodetracker">https://etherscan.io/nodetracker</a>  2024年6月7日時点のノード数: 551(Polygon) 参照先: <a href="https://polygonscan.com/nodetracker">https://polygonscan.com/nodetracker</a>
	記録者の分布状況	2024年6月7日現在のTop5(Ethereum) United States: 2,516ノード(53.14%) Germany: 554ノード(11.7%) South Korea: 276ノード(5.83%) United Kingdom: 171ノード(3.61%) Canada: 131ノード(2.77%) 参照先: <a href="https://etherscan.io/nodetracker">https://etherscan.io/nodetracker</a>  2024年6月7日現在のTop5(Polygon) United States: 537(97.46%) Germany: 5(0.91%) France: 3(6.15%) Netherlands: 2(2.05%) Singapore: 2(1.64%) 参照先: <a href="https://polygonscan.com/nodetracker">https://polygonscan.com/nodetracker</a>
	記録者の主な属性	Ethereum: 記録者は不特定で、誰でも自由に記録者になれる。 Polygon: 記録者は、報酬を得るためにステーキング活動を行っているステーキングプール及びプール参加者が主体。
	記録の修正方法	Ethereum: 記録者が合意し、各記録者が保管する台帳の修正を自ら行う。 Polygon: ブロックに記録された後は修正・変更は行われない。
	記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼ることなく、記録保持の仕組みそのものにより信用が維持されている。
	価値移転の管理状況に対する監査の有無	なし
	監査を実施する者の氏名又は名称	—
	直近時点で行われた監査年月日	—
	その監査結果	—

	(統括者に関する情報)	
	記録者の統括者の有無	なし
	統括者の名称	—
	統括者の所在地	—
	統括者の属性	—
	統括者の概要	—
【暗号資産に内在するリスク】	価値移転ネットワークの脆弱性に関する特記事項	Ethereum: 記録者が結託もしくは単独でその時点における計算能力の半分を上回る計算能力を得ることで、記録の変更が可能である。 Polygon: 第三者に秘密鍵を知られた場合には、利用者になりすまして送付指示を行うことができる。
	保有情報暗号化技術の脆弱性に関する特記事項	—
	発行者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	—
	価値移転記録者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	—
	移転の記録が遅延する可能性に関する特記事項	Ethereum: ・Ethereum上のトランザクションが過度に増大すると台帳への記録がされにくくなり、最終的に移転の記録の遅延またはキャンセルが発生する可能性がある。 ・多数の記録者が結託し、あるいは既存の記録者が有する処理能力合計よりも強力な能力を用いることによって、記録台帳を改竄することで発行プログラムを改変することができる。  Polygon: なし
	プログラムの不具合によるリスク等に関する特記事項	未検出のプログラムの脆弱性やプログラム更新などにより新たに生じた脆弱性を利用し、データが改竄される等のリスクはあるものの、現状は正常に稼働している。
	過去に発生したプログラムの不具合の発生状況に関する特記事項	—
	非互換性のアップデート(ハードフォーク)の状況	Ethereum: 2022年9月「The Merge」アップデートを実施し、PoWからPoSへ完全移行。 2023年4月「Shanghai」、2024年3月「Dencun」実装完了。  Polygon: 2023年1月17日ハードフォークV0.3.1を実施し、ネットワークガス料金の急上昇を防ぎ、チェーンの再編成(Reorgs)に対処。 2024年3月「Napoli」実装完了。
	今後の非互換性アップデート予定	Ethereum: 2023年～2024年Sharding(プロトダックシャーディング、ダックシャーディング)を予定。  Polygon: Reorgs問題解決対策として数秒以内のファイナリティの獲得のため、再度ハードフォークを実施予定。 「Feijoa」アップグレードで、Dencunの手数料削減機能EIP-4844導入予定。
	正常な稼働に影響を与えたサイバー攻撃の履歴	なし
【流通状況】	価格データの出所	出所: Zaif Orderbook trading URL: <a href="https://zaif.jp/sp/trade/polygon.mv_jpy">https://zaif.jp/sp/trade/polygon.mv_jpy</a>
	1取引単位当たり計算単価(ドル基準、例: \$ 1,000,000)	\$0.0234
	1取引単位当たり計算単価(円基準、例: ¥ 100,000,000)	¥3,6519
	ドル/円計算レート 2024年6月7日基準	1ドル/155.81円
	四半期取引数量(協会加盟会員合計、現物、単位は百万円)	9,286百万円(24年1-3月)
備考		2024年12月までにPolygonとの互換性があるMvchainへのアップデートを予定。 Mvchainはアービトラムオービット(Arbitrum Orbit)技術のアーキテクチャを採用し、これまでのPolygonチェーンユーザーの資産やゲームデータはそのままに、Mvchainのサポートが追加される。  参照: <a href="https://genso.game/ja/news/detail/?seq=694e587665616a3535536e6e4c5568633371584f43673d3d">https://genso.game/ja/news/detail/?seq=694e587665616a3535536e6e4c5568633371584f43673d3d</a>